

# 格子 QCD による有限温度媒質中のチャーモニウムの分散関係の解析

浅川正之、北沢正清、池田惇郎（大阪大学）

重イオン衝突実験で生成されるチャーモニウムは QGP 中を運動している



媒質中を運動するチャーモニウムの性質を調べたい

- 分散関係
  - 虚時間相関関数から実時間の情報を得る
    - 最大エントロピー法
  - 誤差の評価
    - ピークの位置を「ピークの重心」で定義
- 束縛状態の安定性

